

全国文学館協議会共同展示「3. 11文学館からのメッセージ」 ～東日本大震災から10年、福井地震から73年、災害をみつめる～

会期：2021年2月13日(土)～3月21日(日)

第1章 東日本大震災を描いた文学

項番	作者	種別	資料名	点数
1	俵万智	書籍	『あれから』	1
2	宮下奈都	書籍	『ふたつのしるし』	1
3	宮下奈都	書籍	『はじめからその話をすればよかった』	1
4	吉村昭	書籍	『三陸海岸大津波』	1
5	津村節子	雑誌	『群像』2012年11月号	1
6	津村節子	自筆資料	原稿「わが田野畑村」	1
7	高橋順子	自筆資料	詩稿「海」	1
8	照井翠	自筆資料	書幅「喪へばうしなふほどに降る雪よ」他	1
9	馬場あき子	自筆資料	書幅「沈下した河口ものともせず上る鮭のいろくねるいのちそのいろ」	1
10	岡野弘彦	自筆資料	書幅「身にせまる津波つぶさに告ぐる声みだれざるまゝをとめかへらず」	1
11	伊藤一彦	自筆資料	色紙「東日本大震災を語りをりたつた一人の遺体も見ずに」	1
12	東直子	自筆資料	色紙「海はこわい家うばわれた少年はそれでも海は好きだと言った」	1
13	白石かずこ	自筆資料	詩稿「海陸影」	1

第2章 福井地震を描いた文学

項番	作者	種別	資料名	点数
14	かこさとし	書籍	『じめんがふるえるだいちがゆれる』	1
15	岡部文夫	自筆資料	「雪の夜のふかぶかとしてしづけきにふたたびの地震ゆりつつすぎぬ」	1
16	岡部文夫	自筆資料	「震源はいつくならむか雪の夜の明かきに地震の揺りてすぎたる」	1
17	岡部文夫	書籍	『岡部文夫全歌集』	1
18	多田裕計	書籍	『小説芭蕉』	1
19	中野重治	書籍	『中野重治全集第12巻』	1
20	小山鉄郎	書籍	『大変を生きる』	1
21	山本和夫	書籍	『北陸路』	1
22	中野重治	書籍	『おばあさんの村』	1
23	津村節子	書籍	『星祭りの町』	1
24	石川真介	書籍	『越前の女』	1
25	野坂昭如	書籍	『行き暮れて雪』	1
26	荒川洋治	書籍	『針原』	1
27	吉田正俊	書籍	『くさぐさの歌』	1
28	有明夏夫	書籍	『俺たちの行進曲』	1
29	有明夏夫	その他	『俺たちの行進曲』関連資料	1

第3章 感染症を描いた文学

項番	作者	種別	資料名	点数
30	山崎光夫	書籍	『ジェンナーの遺言』	1
31	山崎光夫	自筆資料	原稿「根絶の旗」	1
32	山崎光夫	書籍	『ドンネルの男・北里柴三郎』上・下	2
33	山崎光夫	自筆資料	『ドンネルの男・北里柴三郎』校正原稿	1
34	山崎光夫	書籍	『小説 北里柴三郎』	1
35	俵万智	自筆資料	色紙「感染者二桁に減り良いほうのニュースにカウントされる人たち」	1
36	俵万智	自筆資料	色紙「第二波の予感の中に暮らせどもサーフボードを持たぬ人類」	1
37	俵万智	書籍	『未来のサイズ』	1
38	—	古文書	『越前国主記』(福井県立図書館蔵)	1